関東学生柔道連盟小史〜資料から辿る〜

関東学連の発足状況を『学生柔道３０年の歩み』（昭和５６年　毎日新聞社刊）から拾ってみました。

１　「関東学柔連発足の前後」（茨城大学　長須賀政智）

　「25年の秋だったと思う。宇都宮大学に練習試合をお願いし、埼玉大学も参加してくださって北関東大学大会と称して、初めて他校との練習試合を行なった。埼玉大学の藤咲四段、茨大の石川三段などの活躍が思い出される。群馬大学はまだ部がなく、教授の方が参観せられたのみであった。翌年埼玉大学で群馬大学を交えて四大学のリーグ戦を行なった。埼玉大学の藤咲四段道場の立派さに選手一同羨ましがっていたことを思い出す。岡村、鱒淵の両先生が専属でおられたことも羨ましい思い出である。この頃第１回の全柔連の発会式が行われたのであろうが、まだまだ関東から参加するという意欲もなかった。昭和28年６月２１日、ようやく関東学生柔道連盟が創立の産声をあげ、全学柔連の試合にも１校参加ということになったのである。」

２　「ますます健全な発展を」（関東学生柔道連盟会長　関口恒五郎）

　「私が関東学生柔道連盟会長に就任したのは、昭和４１年３月のことです。故早川勝先生より、現在まで関東の会長をしていたが、全学柔連の理事長の職に専念しなければならないので、関東の理事諸君と協議の結果、君に白羽の矢が立ったのだから、ぜひ引き受けるようにと要請がありました。」

　「同年４月２８日、新参者の会長が全学柔連の評議員に推薦され、さらに評議員の互選による全学柔連の理事選出の場で、広瀬巌君とともに全学柔連の理事に推薦されてしまいました。」

　「あれから１５年、私は齢を重ね、頭に霜を置くようになりましたが、学生諸君は年々新旧が入れ替わりますので、若さ、新鮮さを失うことなく、生気に満ち満ちております。」

３　「関東学生柔道界の状況」（埼玉大学　岡村秀茂）

　「関東地方では昭和２５年11月に、茨城大学、宇都宮大学、埼玉大学の教官、学生と群馬大学の教官が宇都宮大学の体育館に集会して、北関東三大学柔道のリーグ戦が行われた。その時、茨城大学の長須賀政智教官、宇都宮大学の関根慶雄教官、群馬大学の教官が大林宥範教官、埼玉大学の鱒渕昇、岡村秀茂教官の５人が相談して、来年から群馬大学も参加して北関東四大学親善試合をするように学生指導をすることにして別れた。北関東五大学柔道親善試合として現在まで毎年開催されている。

　また千葉県では、北関東三大学親善試合が開催されたころ、千葉大学の山口宏師範、学生三橋秋義、洞島義司君等の努力で、千葉大学、千葉工業大学、東邦大学の三大学柔道試合が行われていた。神奈川県でも、神奈川大学の角田昭司師範、矢野逹夫教官の熱意で、神奈川大学、横浜市立大学、関東学院大学の三大学親善柔道リーグ戦が開催され、その後横浜国立大学、麻布獣医大学が参加したりして、現在は神奈川大学、関東学院大学、横浜国立大学、横浜市立大学、横浜商科大学、防衛大学校の６大学で毎年柔道大会が開催されている。

４　「関東学生柔道連盟の結成」（埼玉大学　岡村秀茂）

　「昭和２６年10月20日、第１回全日本東西学生柔道対抗試合、全日本学生柔道選手権大会が大阪府立体育館で開催され、翌２７年6月23日には東京・蔵前国技館で第１回全日本学生柔道優勝大会が開催されたが、関東には統合された学生組織がない。たまたま北関東四大学柔道大会の折、茨城大学の長須賀政智教官、宇都宮大学の関根慶雄教官、群馬大学の教官が大林宥範教官、埼玉大学の鱒渕昇、岡村秀茂教官が集まって、関東学生柔道連盟結成の話が生まれ、相談の結果、埼玉大学の岡村秀茂教官が主として世話役を引き受けることになった。

　岡村秀茂教官は早速、東京学生柔道大会店名規約などを参考にして規約原案を作成したが、役員名簿作成で会長問題について苦労した。それは茨城大学は旧制水戸高等学校出身の某氏、宇都宮大学は旧制宇都宮高等農林学校出身の某氏、埼玉大学は旧制浦和高等学校出身の某氏を希望してまとまらず、結局、岡村秀茂教官に白紙一任となった。岡村教官は大学間の融和と将来の発展を考慮し、関東の大学に直接関係のない、当時全日本学生柔道連盟の理事長であった一面識もない早川勝氏を、紹介者もなく単独で石炭連盟の事務所に訪ねた。結成事情など話して会長就任の内諾を懇請したが、中々承諾されず、数回訪ねて学生柔道発展のためにと懇請に懇請を重ねてやっと内諾を得ることができた。ただし適当な会長が見つかるまでの暫定会長であると条件をつけられた。会長就任については、東京学生柔道連盟会長であった故高廣三郎氏及び現東京都柔道連盟会長、参議院議員（当時警視総監）原文兵衛氏の陰の助力があったことは忘れてはならない。

　かくして会長も決まり、昭和２８年６月２１日、茨城大学、宇都宮大学、埼玉大学、群馬大学に加えて、千葉大学、千葉工業大学、東邦大学の７大学によって関東学生柔道連盟は創立されたのである。」

５　「全日本学生柔道連盟に加盟」（埼玉大学　岡村秀茂）

　「昭和２８年７月４日開催の全日本学生柔道連盟理事会に岡村秀茂常任理事が、関東学生柔道連盟規約、役員名簿など必要書類を提出して、審議の結果、全員一致で加盟を認められ、ここに初めて全日本学生柔道連盟の地方組織として加盟することになったのである。」

６　「発展経過」（埼玉大学　岡村秀茂）

　「関東学生柔道連盟は柔道連盟結成以来、現在まで28年間を追憶すると、最初加盟校が７大学であったのが、28大学に増えた。ここまで発展してきたのは、結成以来連盟がコンクリートされるまで、明大OBの故葉山三郎氏、教育大OBの松本芳三、古曳保正両氏、その他関東の大学に関係ない大学柔道部のOB氏らの何かにつけての援助協力があったことを忘れてはならない。

また初代会長早川勝氏、2代目会長の現関口恒五郎氏はもちろんのこと、各大学教官、師範並びにOB氏、学生役員、柔道部員の柔道精神の顕現によるところ大であったと思うのである。この１９８０年代は、政治に経済に教育と各方面に複雑性をおびた混沌とした不安を伴う時代といわれている。学生諸君が在学中に柔道の本質を体得して、卒業後は創始者嘉納治五郎師範の遺訓を実践されんことを祈って擱筆致すこととする。

7 「関東優勝大会の歴史」（宇都宮大学　関根慶雄）抜粋

　「昭和３０年の加盟校は茨城大学、宇都宮大学、群馬大学、埼玉大学、千葉大学、千葉工業大学、東邦大学、横浜市立大学、横浜国立大学のほかに神奈川大学を加え十大学となった。第２回関東学生優勝大会の決勝戦は埼玉大学が茨城大学に代表選で優勢勝ちして優勝した。

　昭和３１年には東邦大学が東京に移籍して別に防衛大学と山梨大学が加盟。第３回関東学生優勝大会の決勝戦は埼玉大学が決勝戦で千葉大学を下して２連勝。

　昭和３２年は順天堂大学と麻布獣医科大学が加盟。第４回関東学生優勝大会では埼玉大学が圧倒的な強さで３連勝した。昭和33年の第５回関東学生優勝大会は、防衛大学と埼玉大学の決勝戦となったが、代表選３回目で防衛大学が初優勝。

　昭和34年になって関東学院大学が加盟。第６回関東学生優勝大会の決勝戦は防衛大学と群馬大学の間で争われ、防衛大学が２対０で2連勝。昭和35年に高崎経済大学が加盟、１５校となる。第７回関東学生優勝大会は昨年と同じく防衛大学と群馬大学の対決となったが、３対１で防衛大学が3連勝。昭和３６年、都留文科大学が加盟。第８回関東学生優勝大会では防衛大学が千葉工業大学を６対１で下して4連勝。

　昭和３７年から全国大会関東の代表校は２校となる。第９回関東学生優勝大会で優勝した防衛大学と、２位横浜市立大学は共に全国大会においてそれぞれ中央大学と国士舘大学に敗退。昭和３８年の第10回関東学生優勝大会は、防衛大学が6連勝、２位は神奈川大学。昭和３９年は10年間理事長として尽力された岡村秀成氏が副会長に、また鱒渕昇氏が理事長に就任した。

第１１回関東学生優勝大会は素晴らしい闘志を持った防衛大学が7連勝、２位の神奈川大学と共に全国大会において出場した。

８　「私立、国立を凌ぐ」（群馬大学　大林宥範）抜粋

　「第12回関東学生優勝大会兼全日本学生関東予選会を昭和40年5月30日、川口市西体育館で埼玉大学柔道部諸君の協力によって千葉大、茨城代、関東学院大、麻布獣医大、埼玉大、山梨大、都留文大、横浜国大、高崎経済大、防衛大学、順天堂大、群馬大、神奈川大、宇都宮大、横浜市大の１６校を４ブロックに分け、トーナメント戦で勝ち抜いた４校による決勝リーグ戦を行い、１位防衛大、２位千葉工大、３位埼玉大、順天堂大。

　第13回大会-獨協大、流通経済大、千葉商大、城西大の初参加計２０校、４１年５月22日川口市西体育館、１位関東学院大、２位防衛大、３位千葉工業大、順天堂大。

　第14回大会-参加校２０校、４2年５月2８日川口市民体育館、１位千葉工大、２位関東学院大、３位防衛大、埼玉大。

　第1５回大会-参加校２０校、４3年５月26日川口市民体育館、１位関東学院大、２位防衛大、３位千葉工大、神奈川大。

　第16回大会-中央学院大の初参加計２１校、４４年５月2５日浦和市立武道館、１位関東学院大、２位防衛大、３位神奈川大、茨城大。

　第1７回大会-神奈川歯科大の初参加計２２校、１位関東学院大、２位防衛大、３位神奈川大、茨城大。

　第18回大会-日大生産工学部の初参加計２３校、４６年５月2３日川口市立武道館、１位関東学院大（４年連続優勝）、２位日大生産工学部、３位防衛大、城西大。

　第19回大会-参加校２３校、４７年５月2８日川口市立武道館、１位防衛大、２位城西大、３位関東学院大、日大生産工学部。

　第２０回大会-日本工学院大の初参加２４校、４８年６月１７日川口市立武道館、１位防衛大、２位城西大、３位関東学院大、日大生産工学部。

　第２１回大会-参加校２２校、埼玉県立浦和武道館、49年６月９日、１位城西大、２位日大生産工学部、３位関東学院大、防衛大。

　昭和40年代は国公立大学柔道部（防衛大を除く）は、その大学の性質上、私立大学柔道部の練習量と力にねじふせられたと思う。」